

北赤井地区ピオトープの状況

東松島市の北赤井地区では、環境との調和に配慮したほ場整備を行うため、「田園自然環境保全・再生支援事業」の一環として、ピオトープを造成することとしました。

ピオトープ作りは、本年3月に「北赤井地区地域活動づくり推進協議会」を中心とした住民参加型で行われ、桜、アジサイ、ツツジ等の植栽のほか、住民の手作りによる木製のベンチや看板も設置しました。

本年5～6月頃には、植栽した草木の葉が伸びて花も咲き、美しいピオトープが出来上がりました。



完成直後のピオトープの様子（H18年3月）



美しいピオトープとなりました（H18年6月）

また、7月13日には、ピオトープの周りに雑草が多く生えてきたため、住民の方々と関係機関の職員とが協力して、草刈りを行いました。

今後とも、ピオトープの維持管理を適切に行い、「子供達が危険なく遊び学べる水田周辺の環境保全」に努めていきたいと考えております。

担当：農地整備第二班、計画調整班



草刈りの様子（H18年7月）

北上川一斉清掃活動に参加

7月23日（日）、「第5回北上川一斉清掃活動」が開催されました。北上川は、流域の人々に数多くの恩恵を与え、「母なる川」として親しまれています。しかし、ポイ捨てや不法投棄が年々増加していることから、きれいな川を維持していくために、住民と行政が協力した北上川の一斉清掃活動が行われています。



清掃活動の様子

石巻管内の各土地改良区では、昨年度から一斉清掃活動に参加しており、本年度も改良区の呼びかけに応じて県や市の関係職員も集まり、参加者は総勢28名になりました。

みなさんの協力により、朝7時から8時8時の1時間で沢山のゴミを収集することができました。

なお、管内の各土地改良区は、10月上旬に開催される「北上川フェア2006」に参加し、PR活動を行う予定です。



集合写真



めだかのすめる たんぼづくりをめざして

宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32
Tel 0225(95)1411 (内)478
Fax 0225(96)4880
E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp
URL http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/nn

編集・発行 (創刊平成15年2月)
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部
計画調整班 農村活性化担当

いしのまきNN通信

Nougyou Nouson



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

「ふるさと学習講座inこまつ」を開催！



第10号の目次:

「ふるさと学習講座inこまつ」を開催！	1
総合学習で農業農村整備を勉強	2
調整池の法面にティフブレアを移植しました	2
経営所得安定対策への対応について	3
牛網ため池の緊急調査を実施しました	3
北赤井地区ピオトープの状況	4
北上川一斉清掃活動に参加	4

地域の子供達に田んぼの役割や農業に関する知識を深めてもらうことを目的に、去る5月27日（土）東松島市小松地内で、地域の子ども5名とその父母9名の参加のもと、「ふるさと学習講座inこまつ」を開催しました。開催場所となった小松地区内では、平成20年から基盤整備事業が予定されています。

地域産業の学習講座

第1部は講義形式で、農業や田んぼの役割などについて学習しました。
東松島市の農林水産業について
…東松島市役所農林水産課
土地改良区の役割について
…河南矢本土改良区
農業の話について
…農業改良普及センター
宮城の淡水魚について
…内水面水産試験場



講義の様子

田んぼの生きもの調査



生きもの調査の様子

第2部では、近隣の水路で田んぼの生き物調査を行いました。調査の結果、下記の魚類及びその他の生き物が確認されました。子どもたちは自分で捕獲したザリガニ等の生き物に興味津々でした。

魚類：コイ、フナ類、タモロコ、モツゴ、ドジョウ、ボラ（幼魚）

その他：アメリカザリガニ、ヤゴ、オタマジャクシ、マシジミ、マルタニシ、ニホンアカガエル

担当：計画調整班

総合学習の時間で農業農村整備を勉強 ～前谷地小学校5年生を対象～

7月12日、農業改良普及センターが実施する子ども農業体験学習地区推進事業の一環として、前谷地小学校（旧河南町）の5年生20名を対象に、総合学習の時間を活用して、農業農村整備に関する授業と現地見学を行いました。

【内容】

(1) 授業（9：15～10：00）

水田農業の変遷や、前谷地地域における田んぼの水の流れをパワーポイントを用いて説明しました。

(2) 現地視察（10：00～12：00）

河南矢本土地区改良区が用意したバスを利用して、和淵、前谷地、笈入の各揚水機場及び集中管理システムについて現地見学をしました。

【小学生の反応】

事前の授業で付近の田んぼや水の流れは勉強していたようで、皆興味深く聞き入っていました。後日提出された作文では、「普段は入れない機場などを見ることができ楽しかった」、「水の管理をコンピュータでやっていることが分かりびっくりした」、「前谷地地区の水の流れがよく分かった」などの感想が述べられていました。小学生が農業農村整備事業の重要性を理解するのに役立つことができたと考えております。

担当：計画調整班



授業の様子。みんな真剣に聞いていました。



揚水機場見学の様子。ポンプの大きさに圧倒されていました。

調整池の法面にティフブレアを移植しました ～河南3期地区～



養生したティフブレアを剥がしている様子



調整池への移植

7月14日と7月21日、河南3期地区は場整備実行委員会及び河南矢本土地区改良区が主体となり、県営ほ場整備事業が行われている同地区の調整池の法面（のりめん）において、芝草（ティフブレア）の植栽を行いました。

本地区では、環境配慮のため、コンクリートブロックによる法面護岸計画を変更し、土のままの法面としました。

しかし、そのままでは調整池周辺は草が伸び放題で害虫のすみかとなり、景観上もよくなく、草刈りをするのも危険が伴います。そこで、耐寒性と耐暑性を併せ持つ丈夫な芝草で、雑草の抑制やゾウムシ・カメムシの繁殖抑制にも効果が高いとされ、近年注目を集めている「ティフブレア」に着目し、移植を行うこととしました。

移植作業は、別の場所で養生した「ティフブレア」を剥がし、調整池に運び、それを植えるという工程で行われ、雨を含んだ重い土が付着した大量の芝を、みんなで一生懸命運びました。

秋には、調整池の周辺に桜の苗木を植える予定をしており、将来的には、芝と桜で美しい景観を作り出せるものと期待しています。

担当：農地整備第二班

経営所得安定対策への対応について

石巻地区推進会議の立ち上げ

平成17年10月に国が示した「経営所得安定対策等大綱」を踏まえ、石巻地区における経営体の育成支援等を図るため、5月18日に「石巻地区農業・農村経営所得安定対策推進会議」が設置されました（会長：石巻市長）。今後は、個別担い手、集落営農組織、法人経営体の支援方策や行動計画の策定等を行う予定となっています。

【参加機関】

石巻市、東松島市、女川町、いしのみき農業協同組合、宮城県石巻地方振興事務所、桃生郡北方土地改良区、河南矢本土地区改良区、北上川沿岸土地改良区、石巻市稲井土地改良区、鳴瀬土地改良区、河北町二俣土地改良区、石巻市蛇田土地改良区、石巻地方農業共済組合、石巻市農業委員会、東松島市農業委員会、女川町農業委員会



推進会議の様子

農地・水・環境保全向上対策

「経営所得安定対策等大綱」の中の一つの柱として、「農地・水・環境保全向上対策」が掲げられており、農水省は平成19年度からの導入を目指しています。平成18年度はそのモデル事業として、「農地・水・農村環境保全向上活動支援実験事業」を行っており、石巻管内においては下記の2地域が対象となっています（県内全体で15地域）。

団体名	関係改良区名	構成員	農用地面積
蛇田保全隊	石巻市蛇田土地改良区	40名	57.3ha
城内地域資源保全会	桃生郡北方土地改良区	116名	59.8ha

また、平成19年度の要望地区として、石巻管内で8地区・計3,180ha（石巻市：6地区・3,080ha、東松島市：2地区・100ha）を決定しました。



城内地域資源保全会が行った水路刈払いの様子（6月4日）

担当：農村整備班

牛網ため池の緊急調査を実施しました



点検を行った「牛網ため池」

6月11日、東松島市の総合防災訓練の一環として「地震後の農業ため池緊急点検訓練」を実施しました。対象となった「牛網ため池」は、近年ため池付近まで宅地化が進み、地震後の緊急点検が必要な施設です。

訓練は、震度6強（M8）の地震が発生したと仮定し、ため池管理者である鳴瀬土地改良区の担当者が現地のため池点検を行い、点検内容を当事務所に報告するという形で行いました。

【牛網ため池の概要】

堤高 4.10m / 天端幅 4.00m / 堤頂長 79.0m
傾斜勾配 上流2.50m・下流2.50m / 総貯水量 235,000m³
満水面積 0.096K m² / 流域面積 0.060K m²

担当：農村整備班